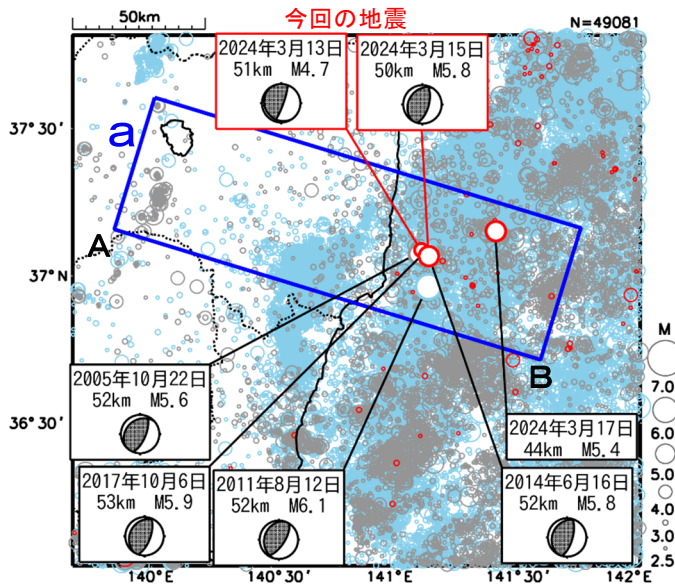


3月13日、15日 福島県沖の地震

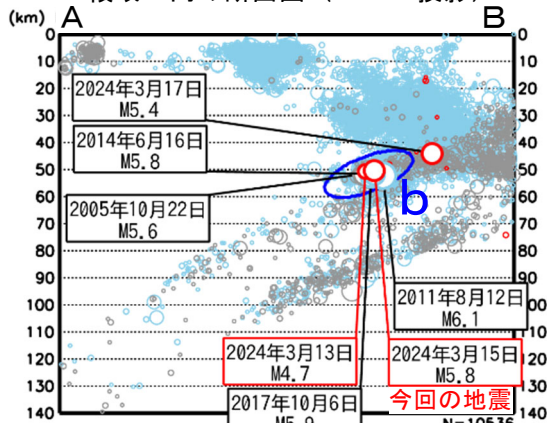
震央分布図

(1997年10月1日～2024年3月31日、
深さ0～140km、 $M \geq 2.5$)

○1997年10月1日～2011年2月28日 ○2011年3月1日～2024年2月29日
●2024年3月1日以降 図中の発震機構はCMT解を示す



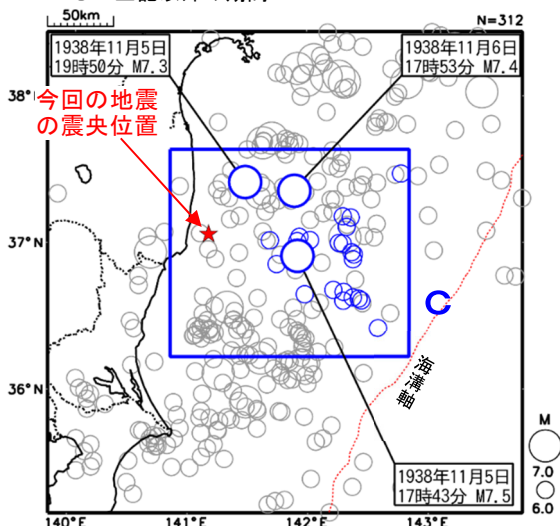
領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1919年1月1日～2024年3月31日、
深さ0～140km、 $M \geq 6.0$)

○: 1938年11月1日～1938年11月30日
○: 上記以外の期間

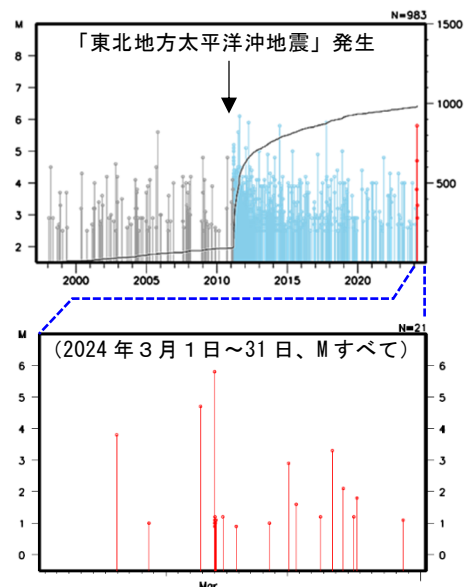


2024年3月15日00時14分に福島県沖の深さ50kmでM5.8の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震により軽傷4人の被害が生じた（3月22日現在、総務省消防庁による）。この地震の発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

また、この地震の震源近傍では、13日20時24分にもM4.7（深さ51km、最大震度4）の地震が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は東西方向に圧力軸を持つ型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、東北地方太平洋沖地震）の発生以降、地震活動が活発で、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1938年11月5日17時43分にM7.5の地震が発生し、宮城県花巻で113cm（全振幅）の津波を観測した。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年11月30日までにM6.0以上の地震が25回発生した。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域c内のM-T図

